

県民ひろば

2022年3月31日

No. 60

発行/県民クラブ
連絡先/大分県議会
大分市大手町☎(097)536-1111代

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>



県議会の「DX化」進む

県民クラブ 小嶋 秀行 (大分市)



大分県議会で、これまで、本会議場に情報端末を持ち込む事が、議会規律の維持という観点から禁止されて

いました。そこで、今回の第四回定例会まで、各党派等で協議を重ねてきた結果「情報機器の使用に関する申し合わせ事項」を改正することで、本会議場の持ち込みを可能とし、県議会の「DX化」が一歩進むことになりました。

本会議場で情報機器の使用が可能に

本件に関しては、かねて一部議員からの強い要望や全国的にも議会の「DX化」が進み、本会議場への持ち込みを可能とする県議会が増えた事もあり、今回、議会運営委員会が合意を得ることで実現しました。

委員会のコロナ対策も

既に、各委員会審議の際には、平成三〇年第一回定例会で、スマホやタブレット端末などの持ち込みを可能とする申し合わせが出来ていましたが、今回、本会議場へ持込できることとなったことで、議員による議案等の審議の充実が更に図られます。

併せて、委員会の際のリモート会議を実現する情報機器の導入や、委員席の発言マイクスタンド改善なども行われました。これまで、委員会審議の際の議員席では、2〜3本のワイヤレスマイク持ち回り(都度の消毒なし)で発言する状態

でした。そこで、「このコロナ禍でこうした状態が適切かどうか早急に検討すべきではないか」との意見を提案したこと

本会議・委員会資料のペーパーレス化も

現在、議員にタブレット端末を戸別配布(新年度実施)することによる、議会のペーパーレス化について協議中です。既に、県の情報化を推進する立ち場の商工労働企業委員会では、他の委員会に先駆けて執行部側からの説明をタブレットによる説明に切り変えており、今後、残る5委員会も同様の会議模様となります。

他県議会等とリモート会議も可能に

また、コロナ禍でWeb会議(リモート会議)が定着しつつありますが、これまで議員が視察先まで出張して調べていた他県の政策課題調査で、現場視察等が伴わない場合は、リモート会議が可能な情報機器を活用して行うよう条件整備も行いました。

とかく、日本は全体的にICT化やDX化後進国と言われておりますが、その中でも地方議会は遅れに遅れています。2012年7月に訪問した韓国の市議会では、本会議場に全議員分のデスクトップのパソコンが設置されておりましたし活用されておりました。

県民クラブとして、引き続き議会の「DX化」には積極的に提言することとさせていただきます。